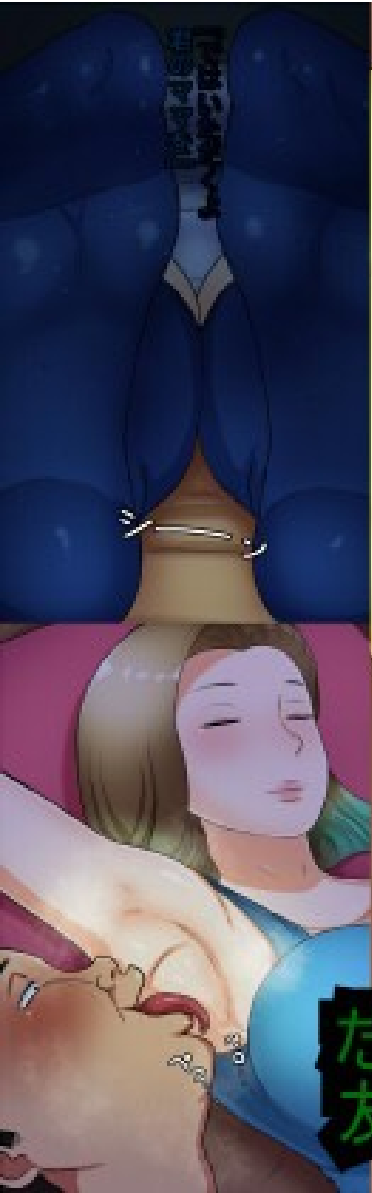


ともはは10



箱舟基本CG25枚



『ねえ、冷蔵庫からレモンティー持ってきて〜』

とある朝



俺のママは家の中だとかなり
だらしない



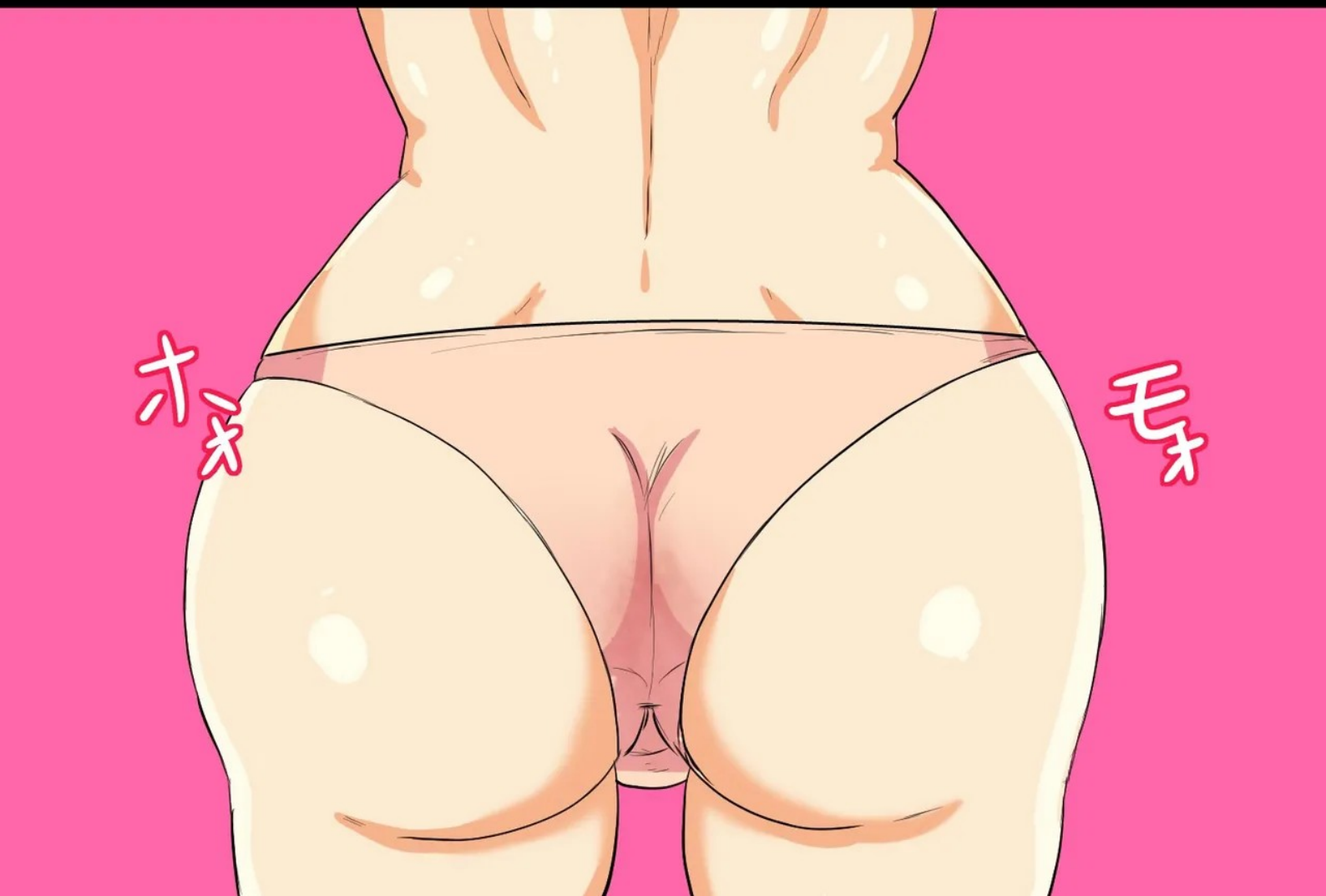
『じゃあ ママパートに行ってくるから
洗濯とお皿洗いと部屋掃除器かけておいてね』

こんな感じで人使いもかなり荒い





ポス



ポス

モス

だが俺にはママはいいかねずるだった
彼は友達の望月くん

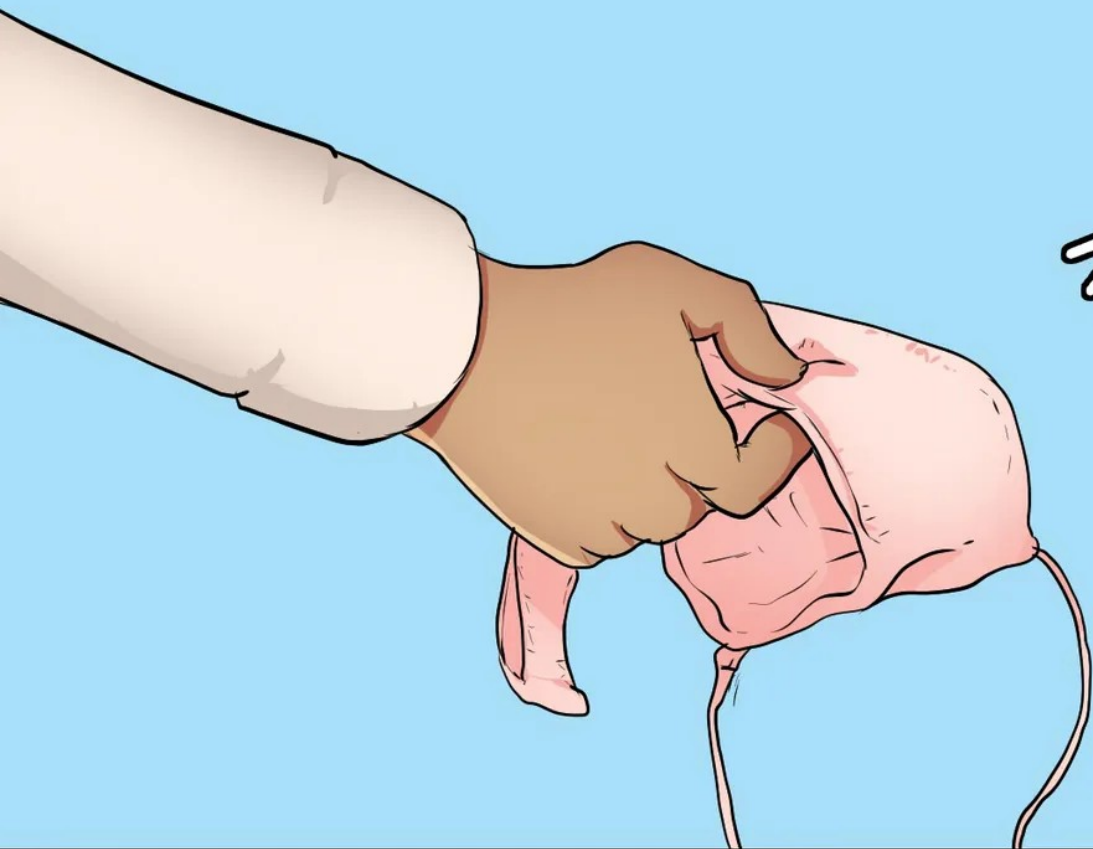
ニチャア

『やあ 例のモノは用意してくれたかい?』



『ああ もちろん』
俺はママの下着を用意し

ズ...



彼は金を用意する
利害の一致だ

ズ...



俺のママの何がいいのかわからなかったが
金になるのでありがたい存在だ



そんな俺に彼はさらにサプライズをくれた

「これで眼のおしや 君のムシをばおしや
お金はいつもの十倍払うからや」

ニヤ...

『あーいーあー』



『ねえ〜冷蔵庫からレモンティー持ってきて〜』

ポッ
ポッ

バン~~~~

決行日
何も知らないママは
今日も暢気なものだ





たったこれだけで金が稼げる
美人の母を持つとこんな得があるとは思わなかった

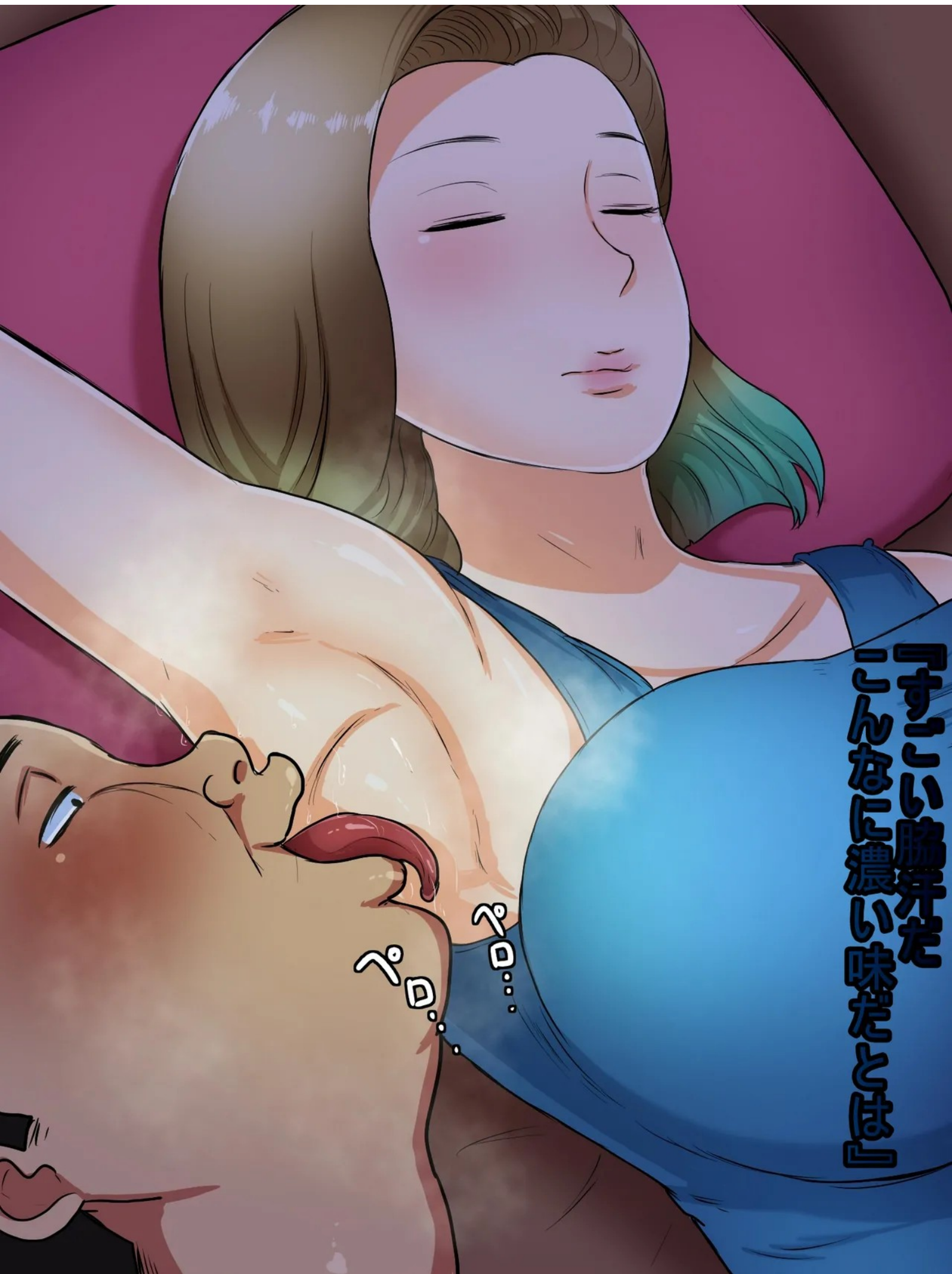
「お邪魔します
調子はどつただらうか？」

「ぐっすり寝てるよ
何しても絶対に起きないくらいだよ」



「ではいたたくよ
君のママを」





「すっごい膂弁だ
こんなに濃い味だとは」

ふ...ふ...

『おいしい
柔らかくてプルプルだ』

ぺろ

ろろ

ろろ

ろろ



俺のママの
太ももにこすりつけやがった
こんなの見てたらだんだん気持ち悪くなってくる




『おいしそうなオマンコだ
いっただきまゝす』





自分の母親と友達がいざ始まると思ったら
心底気持ち悪くなってきた
『俺は部屋に戻るよ……』



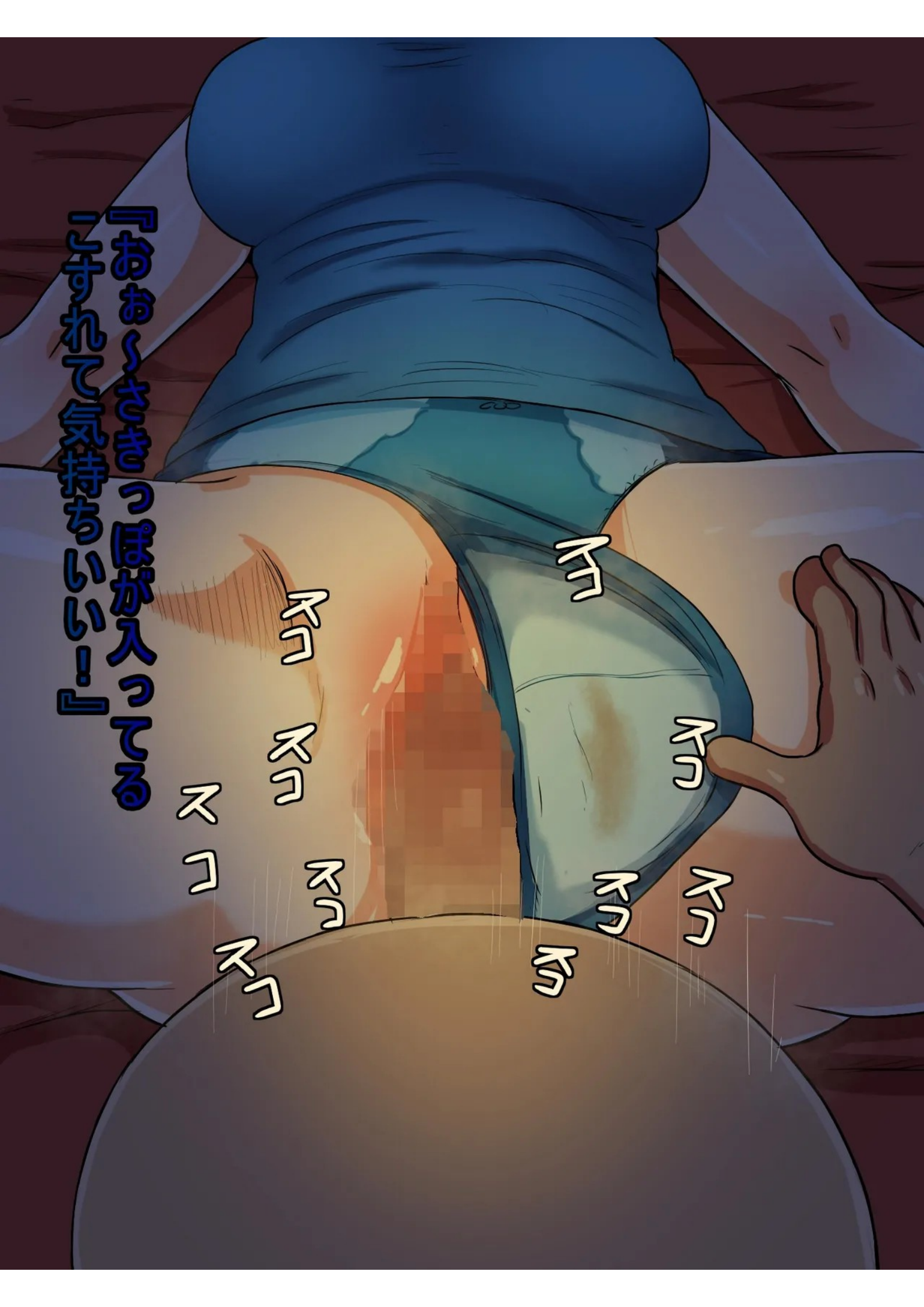
『いや駄目だ！
最後まで見届けるんだ！じゃなきゃお金は払わない
君が見なきゃこれの意味がないからね』

『なに言ってるんだよ……』

「おお〜さきっぽが入ってる
〜すれて気持ちいい〜!」

スッ
スッ
スッ
スッ
スッ
スッ
スッ

スッ
スッ
スッ
スッ
スッ
スッ
スッ





『やめてくれ...』

『何言ってるんだよもう遅いよ
君のママは僕の女になったんだからね』



俺は見ていることしかできなかつた
自分の罪を したことの重大さを



世界に一人しかいない最愛の母親を
ちんけな金で安売りしてしまったのだ



『金は要らないから
中には出さないでくれ』

キョッ
キョッ



『しょうがないね〜
そこまで言われたら
顔面写生で我慢してあげようよ』

パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ



何とか最後の砦は守った
ママの中に出されなくてよかった
ママの中に射精していいのは
俺だけだ

完

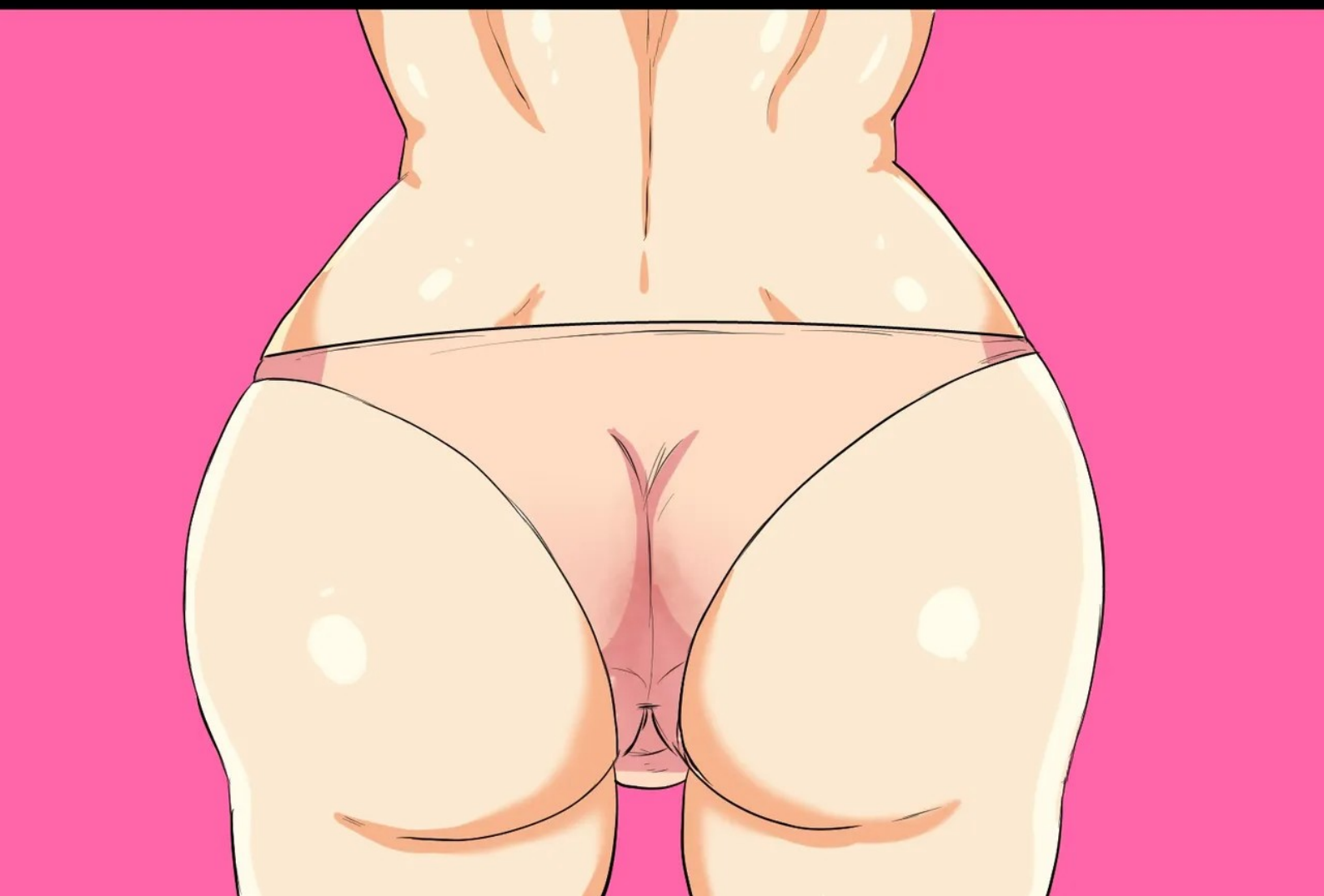
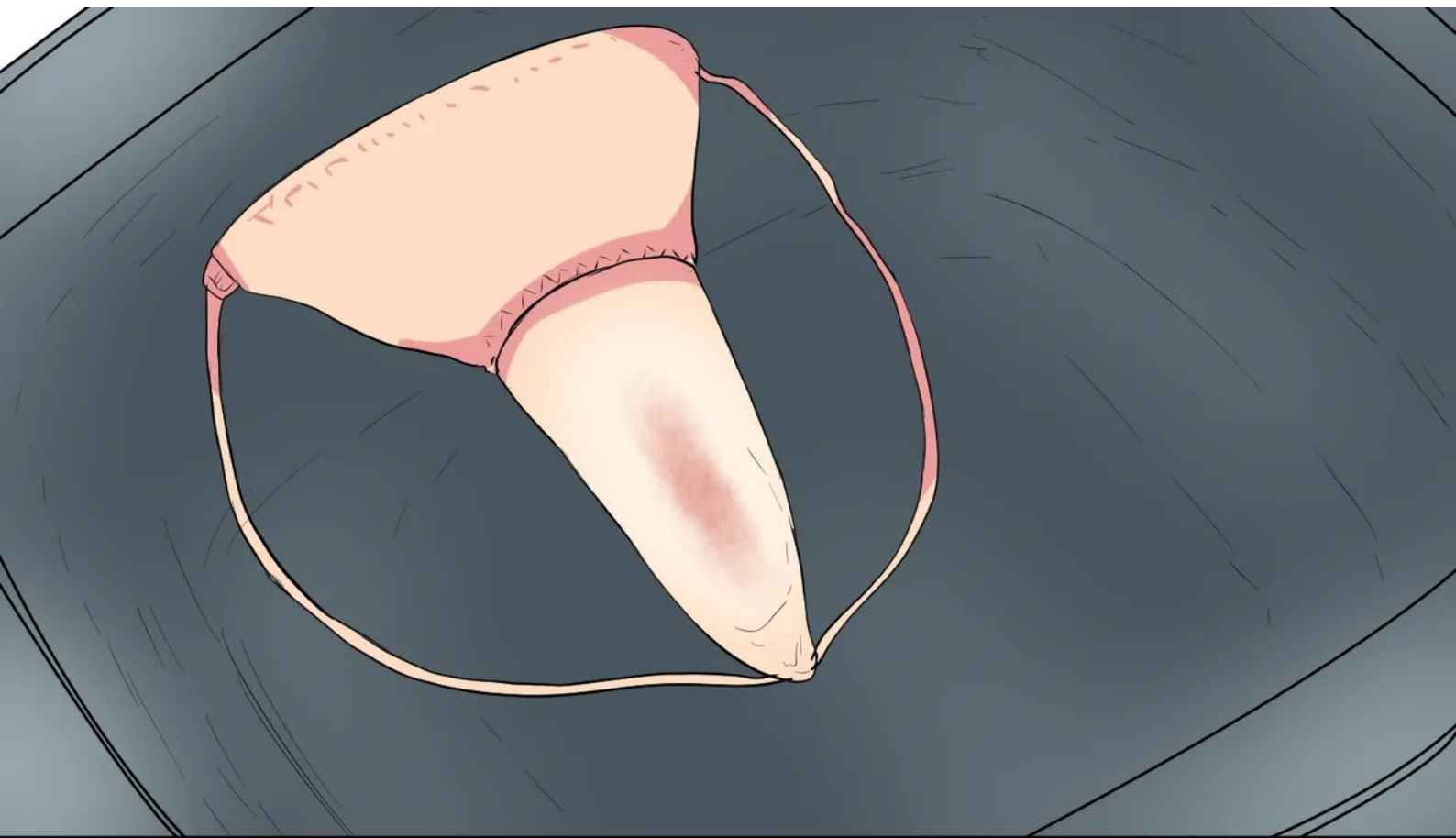


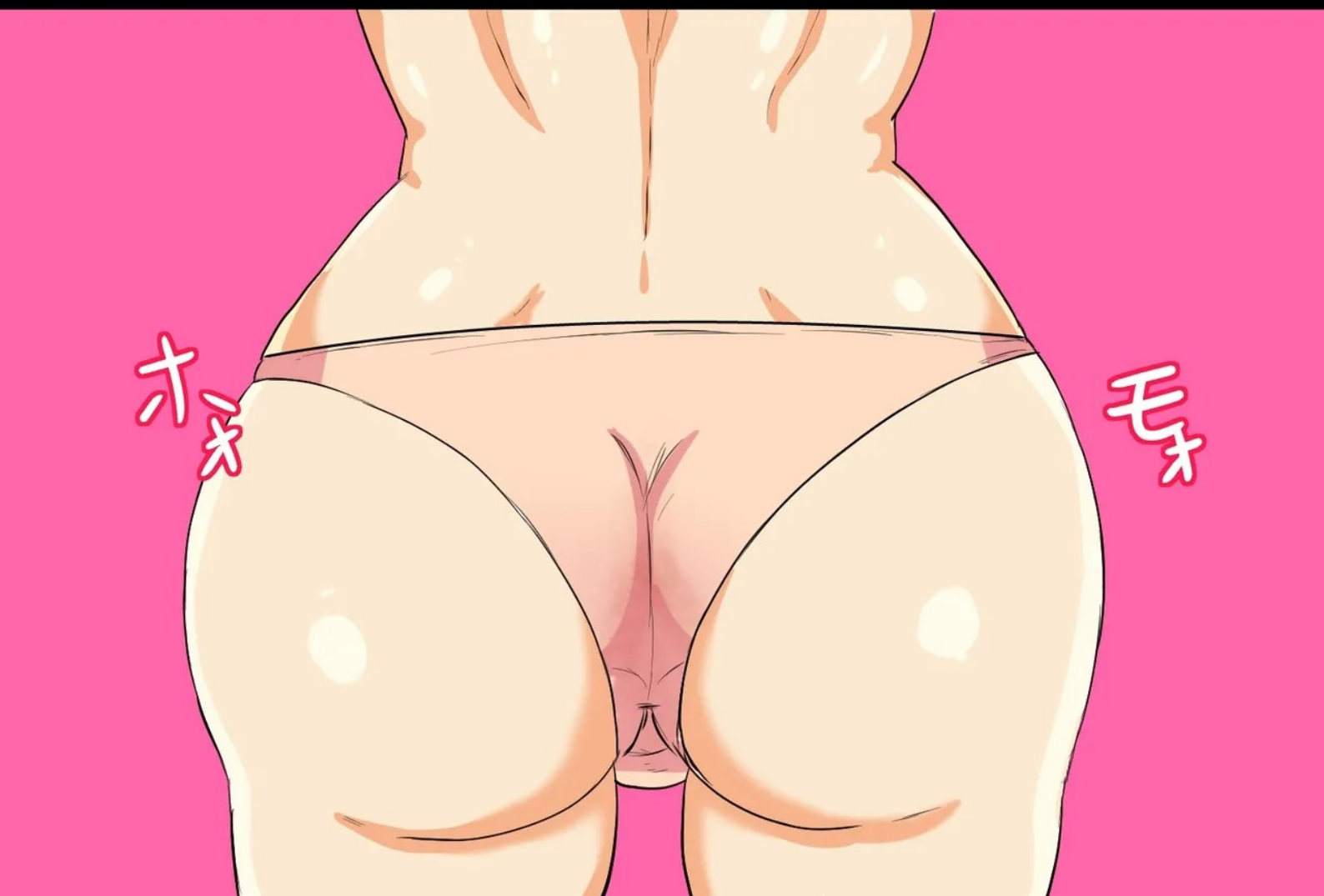
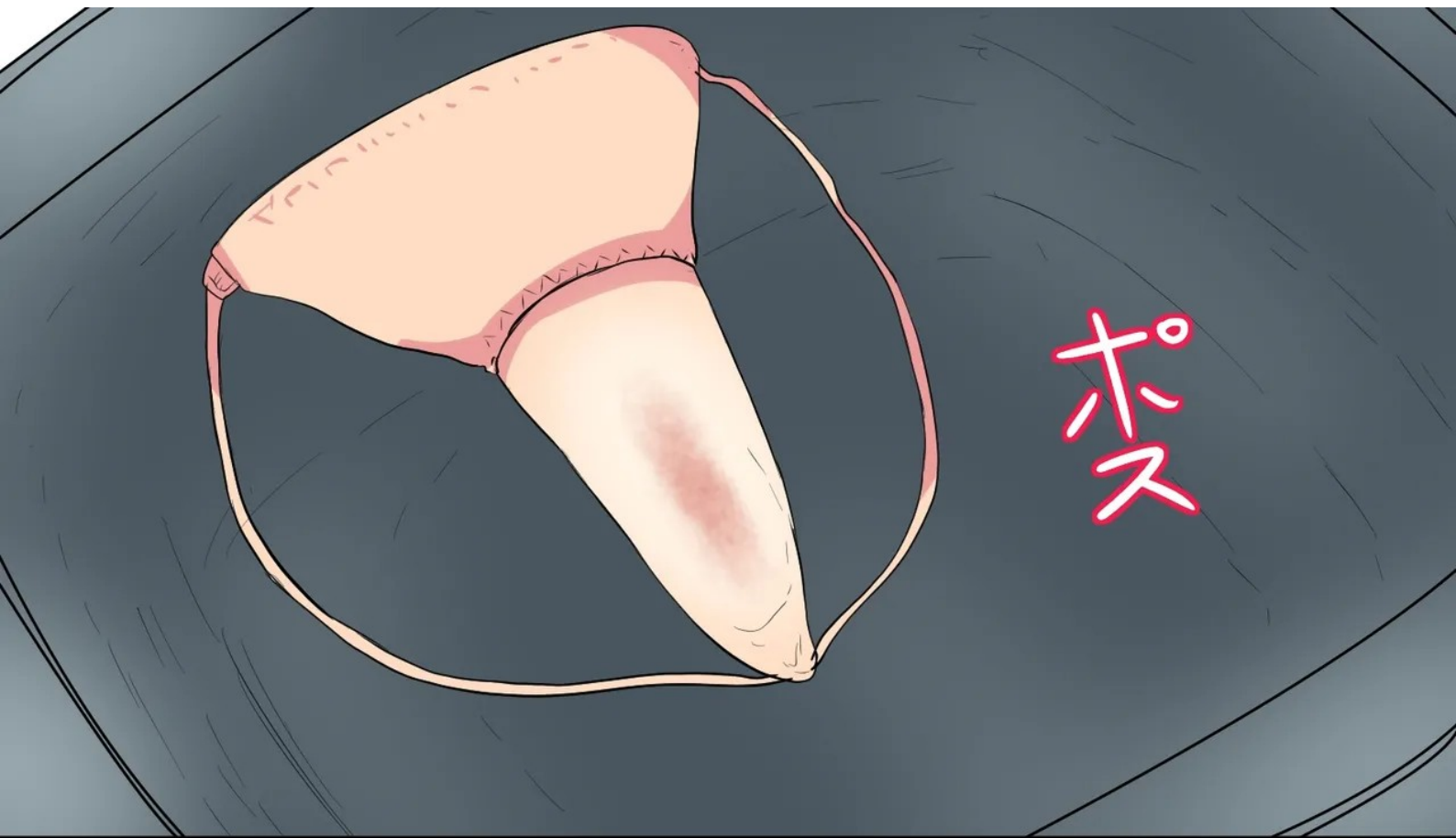


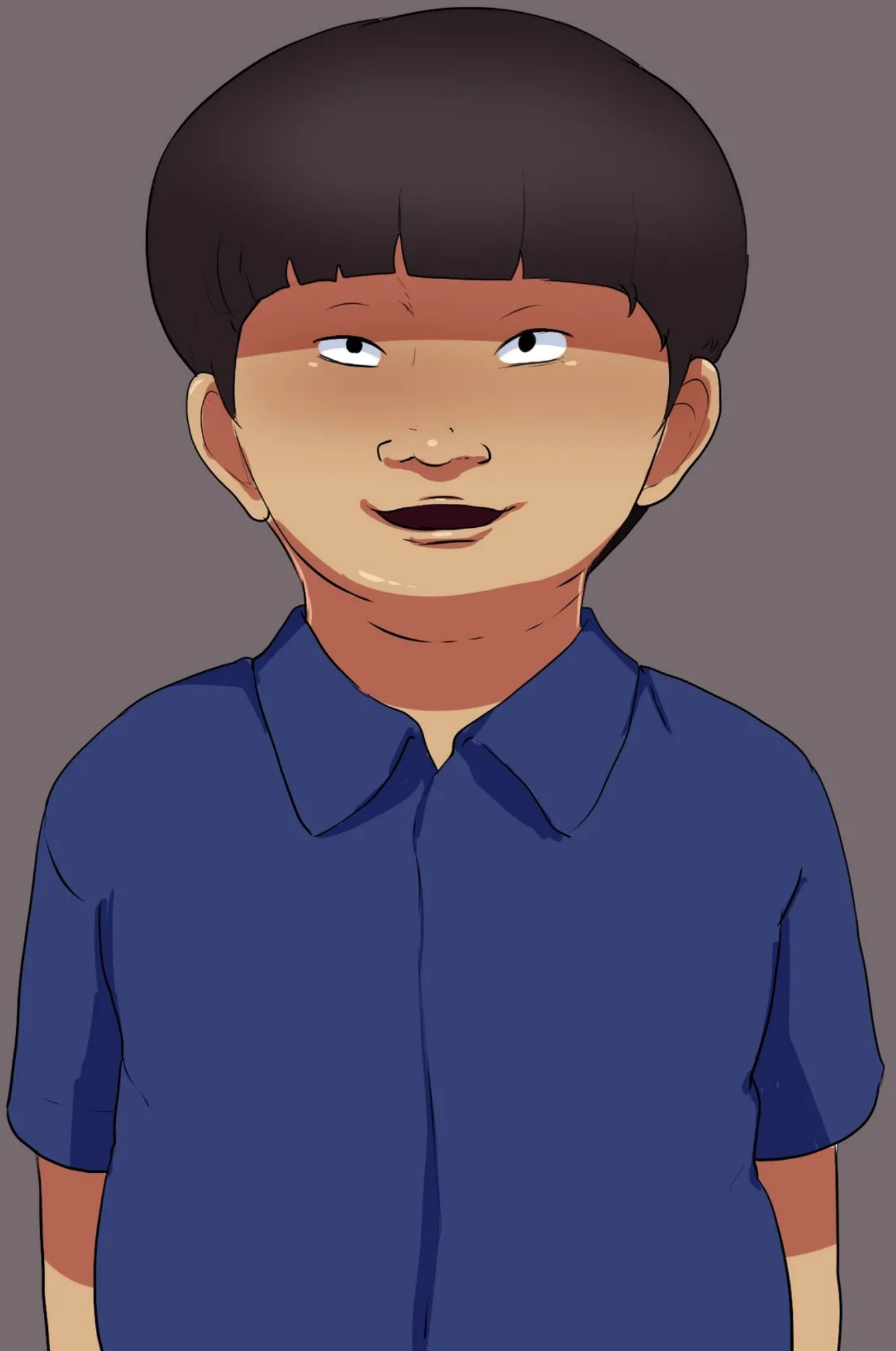


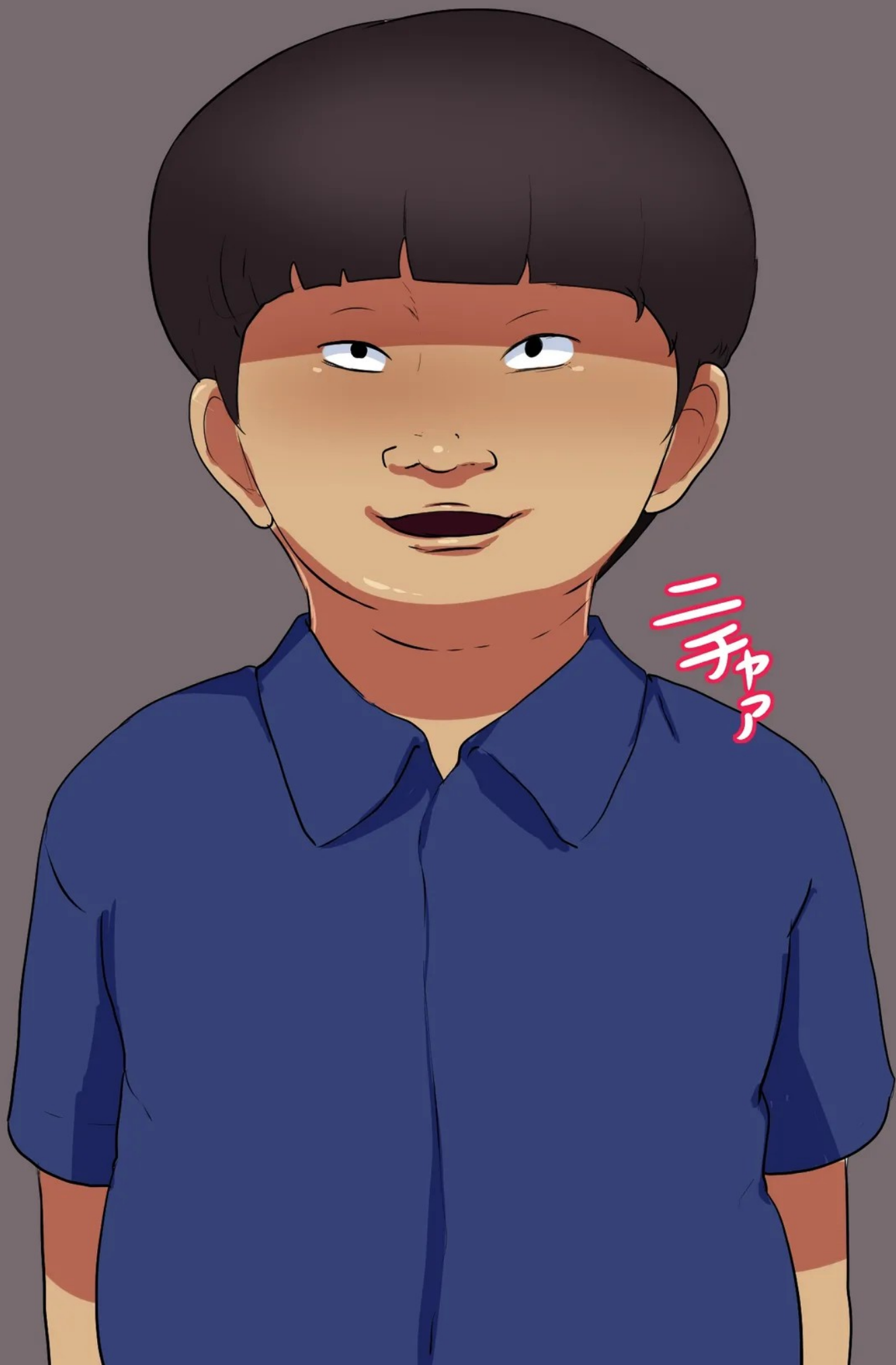




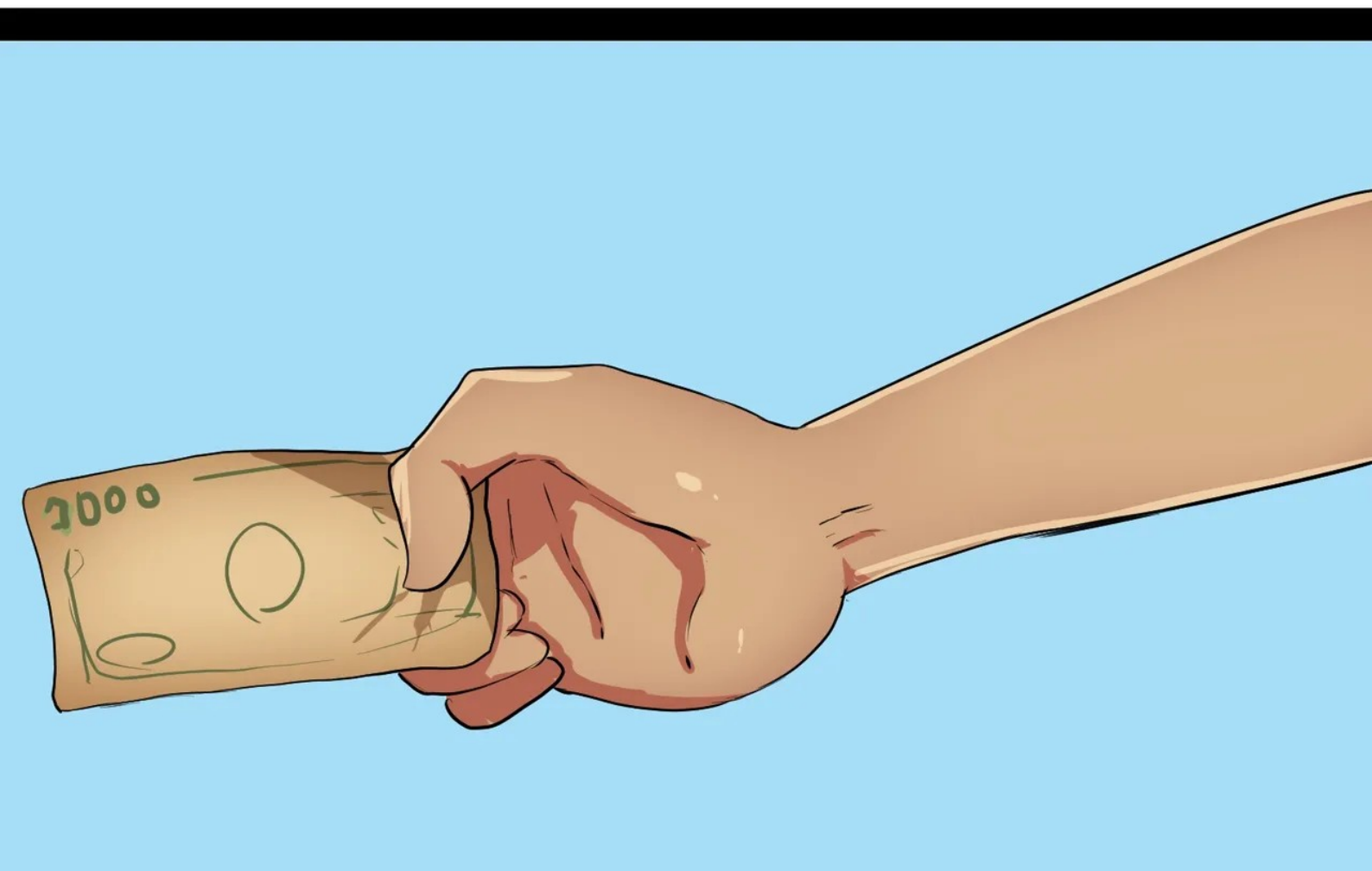
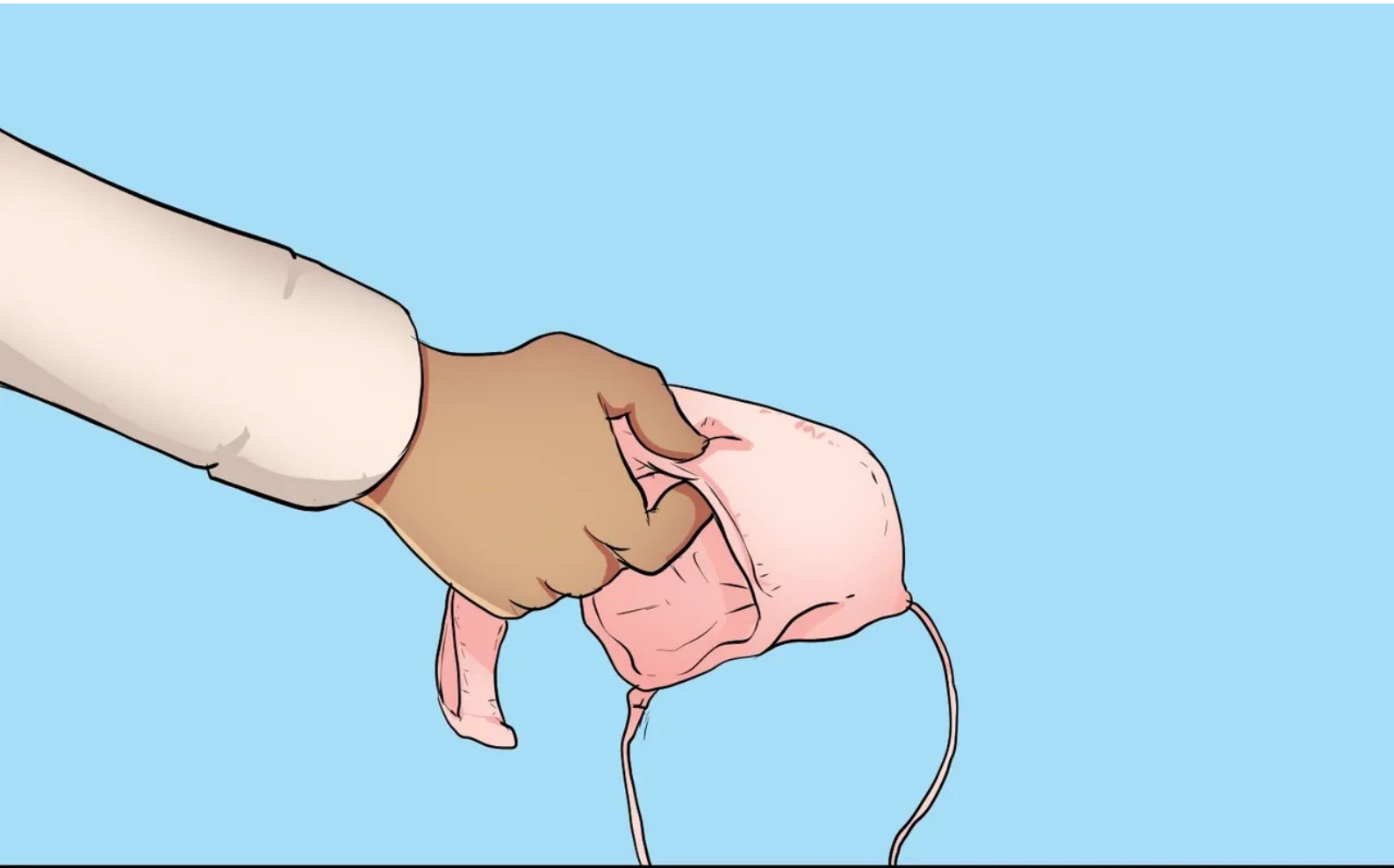


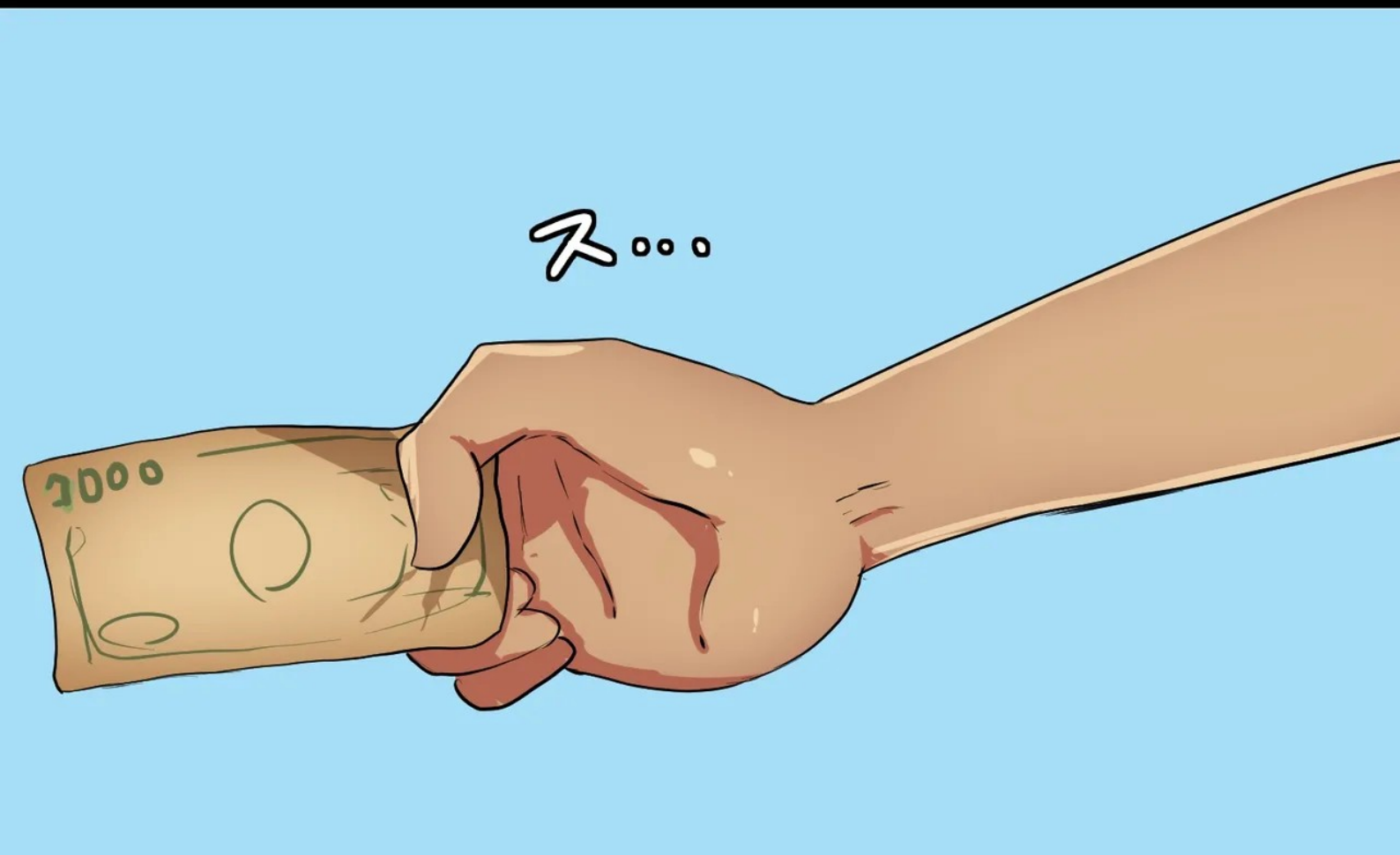
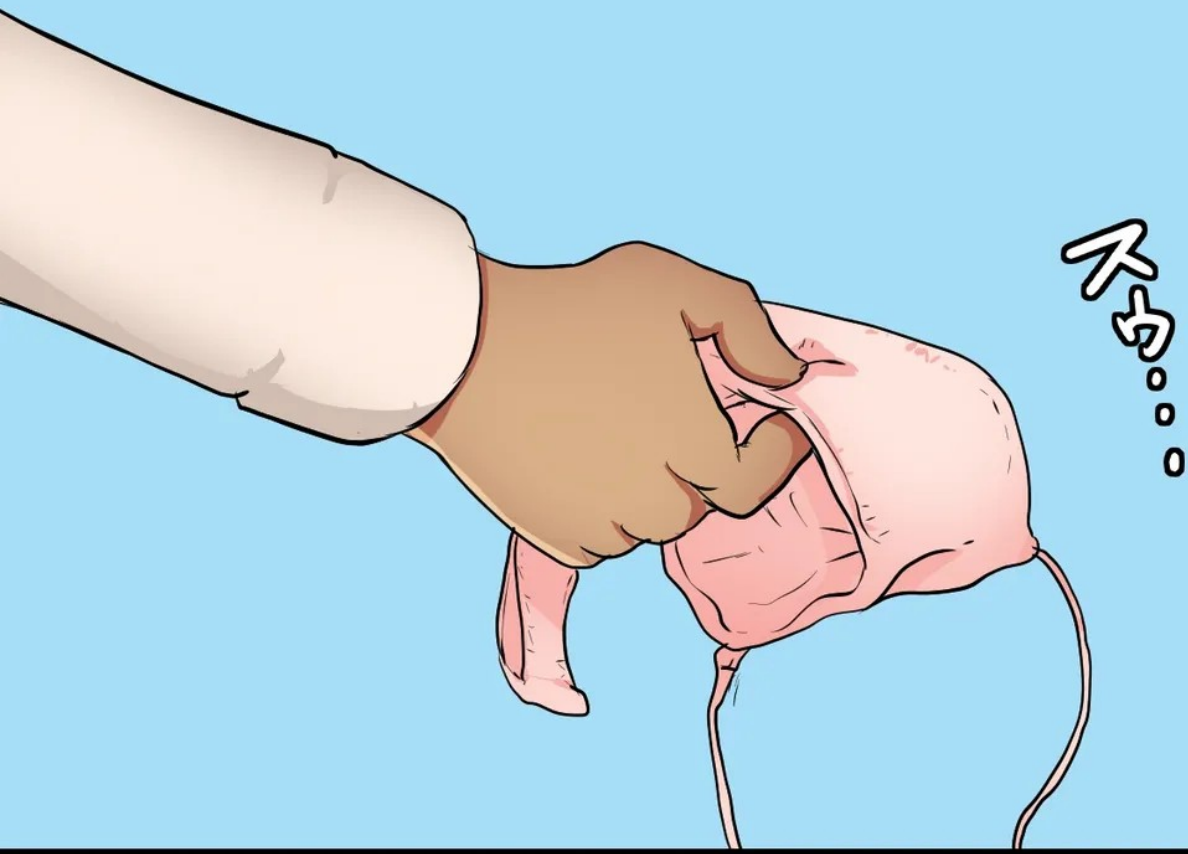




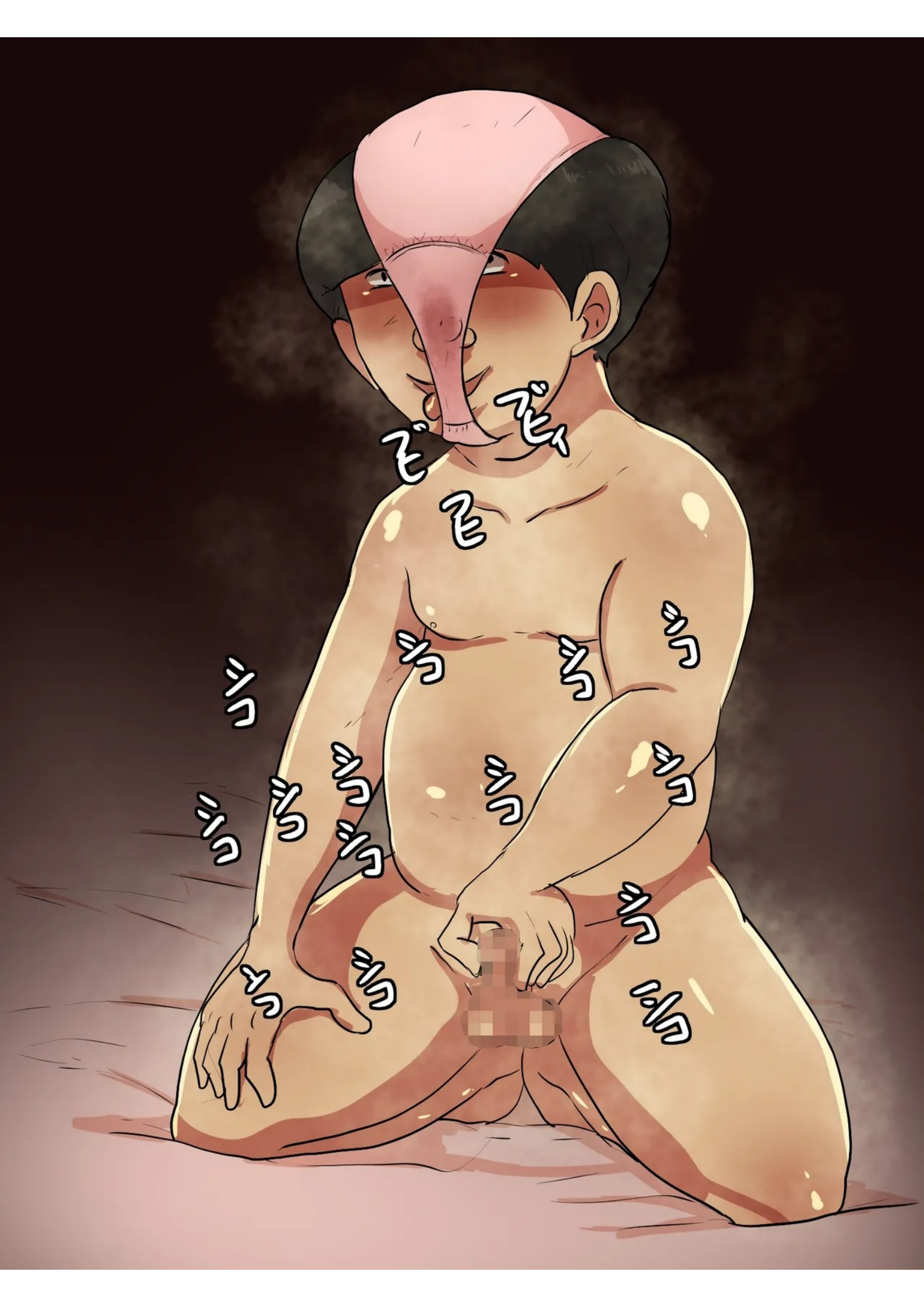


ニチャア

















何...?











